



あなたと博物館

HIRATSUKA CITY MUSEUM

'97 12月号



特別展

平塚の星空写真展

平成9年12月13日 ~ 平成10年2月1日

昭和51年に博物館が開館して以来、天文分野が記録収集してきた天体写真資料を中心に展示します。金星や火星の接近、日食や月食、めずらしい天体の出現など、平塚の空で起きたさまざまな天文現象を記録したものです。中にはハレー彗星やヘルボップ彗星など、大きな話題になったものもあります。この中にはきっと皆さんもごらんになった現象もあると思います。

また、環境庁が提唱し、早くから参加してきましたスターウォッチング、星空継続観察調査から平塚の夜空では星はどのくらい見えるのかについても結果をふ

まえて解説します。

星空に親しんでいただけるようこの時期に見られる冬の星座や星を解説したコーナーも設けます。また、博物館としてははじめての試みとして、収集した天体写真や出版物等を記録したCD-ROMを付けた図録を出版します。CD-ROMの内容は展示室のパソコンコーナーで体験する事もできます。

これを機会に、平塚の夜空に広がる美しい星空と、そこに繰り広げられるさまざまな天文現象に興味を持っていただければ幸いです。

会場 平塚市博物館特別展示室

内容

星座と星たち 冬編

太陽系の星たち

天文現象1978~1997

星座を撮ろう

美しい星空を守るために

パソコン展示コーナー

スライドコーナー

星空をのぞいてみよう

関連行事

「星を写そう」12月26日(金) 18時~21時(往復八ガキで)

「星を見る会」1月9日(金) 1月23日(金) 19時~20時30分(自由)

「星座早見を作ろう」1月25日(日) 16時~18時30分(往復八ガキで)

寄贈品コーナー「構之内遺跡展」

期間：12月2日から12月28日まで



発掘A地区 上空より

構之内遺跡は平成2年に玉川文化財研究所（代表：戸田哲也）によって調査が行われました。その成果は、調査報告書によって明らかにされましたが、私達が資料を見る機会がありませんでした。昨年、調査された資料が教育委員会に寄贈されましたので、調査成果を見ていただき古代平塚の歴史に思いを馳せていただきたいと思います。

全部を展示することはできませんが、特徴的な土器、灰釉陶器、緑釉陶器、古銭、鉄製品、鏡、墨書土器等を展示します。

見所 東海地方の縄文中期の土器が出土したことです。砂丘の形成時期を考え上で、キーポイントになるとともに、交流を知る上でも重要です。

建物の柱穴から出土した和鏡は土地の神様を鎮めるために埋納されたものです。

当時の最高級の食器である緑釉陶器が多く出土したことは相模国府の所在地を暗示する資料です。

展示はしていませんが、砂丘間凹地で古代の水田址が発見されことも平野の土地利用を考える上で重要です。



縄文時代Ⅰ号土塚出土遺物

昭和20年7月16日から17日未明にかけ、平塚市はアメリカ軍による大規模な空襲を受けます。B29爆撃機132機によるこの攻撃は、一晩で44万7,716本もの焼夷弾が投下されます。その数は、一人あたり8.2本におよび、全国で二番目に多い数になりました。この空襲による被害は本宿・新宿・須賀・馬入の旧市街をはじめ、高根・山下・南原・中原・真土・四之宮・横内・入野・長持、大磯町大磯・寺坂、茅ヶ崎柳島・中島・円蔵・赤羽などの広範囲におよび、少なくとも死者は300人以上、旧市街地では全戸数の70%が焼失しています。

博物館では、平成元年、市民の皆様の協力を得て「平塚の空襲と戦災を記録する会」をつくり、「平塚大空襲」の実態解明に着手いたしました。市民の皆様の協力で作られた「平塚の空襲と戦災を記録する会」の活動は、発足以来、主に空襲体験者の聞き取り調査、空襲に関する記録資料や品物の発掘、空襲の爪痕が残る市内戦跡の所在確認、戦災焼失地図の作製などを通して続けられました。それにより、現在まで120名を超える空襲体験者の証言が得られ、平成6年9月にはアメリカ国立公文書館の調査を実施し、市内戦跡調査では60箇所を超える戦跡が確認され、旧市街地(須賀・馬入・新宿・本宿)の戦災地図を完成させています。

平塚大空襲から50年を経た平成7年7月、特別展「44万7,716本の軌跡 - 平塚の空襲と戦災 -」を開催して、その成果の一部を皆様方に見ていただきました。特別展の開催後、「平塚の空襲と戦災を記録する会」では、集められた空襲体験者の証言集を一冊の本にまとめるため、準備を続けていました。現在、その準備作業が最終段階になり、いよいよ来年3月の刊行へ向け最後の調整に入っています。

「平塚の空襲と戦災を記録する会」の会員による空襲体験者の聞き取り調査は、会が発足した平成元年から続けられています。当初、調査は空襲体験者を捜す作業から始められ、体験者から体験者とそれこそ口コミで受け継がれ、次第に証言者の数を増していきました。また、手記を寄せていただけた方もあります。ところで、全ての体験者が気軽にその体験を語ってくれるとは限りませんでした。空襲体験者の中には、思い出すことさえ厭だとして堅く口を閉ざされる方も少なくありません。何度かお願いしやっとう重い口を開いて下さった方もおいでになります。そうした体験談が、120を超えたのです。この120という数値は体験

者の数からして決して多い数ではありません。しかし、語られる内容は全て重みのある体験に裏付けられたもので、例え数が少ないとはいえ、記録資料からだけではわからないさまざまな事実が明らかになりました。

今回発行される平塚空襲の「証言集」は、予定されている「平塚空襲に関する記録集全3巻」の第1巻目として刊行されるものです。

この証言集は、「市民が探る平塚空襲」(仮題)と名付けられ、A4版・300頁を予定しています。

その内容は、プロローグで空襲体験者二人の証言で平塚空襲の開始を告げます。次に「今夜は平塚だ」と題し、警報から夜明けまでの間を、遥かに予想を超える爆撃であったこと、照明弾の威力がすごいこと、焼夷弾の恐ろしかったことを語る証言で綴ります。「その時人々は」では、空襲の最中、体験者が取ったそれぞれの行動とどのような体験をされたかを語ります。「地域ごとの記録」では本宿・新宿・馬入・須賀の体験証言は勿論、大野・中原・金田・旭などの周辺町村の体験証言、そして大磯や茅ヶ崎、秦野から見た平塚空襲の様子などをはじめ明かにしています。「軍需の町平塚」では、火薬廠や技研、分工場、日国など市内それぞれの軍需工場で空襲を体験された方々の証言を集めました。その他、「夜明けそしてその後」では、待ちわびた夜明けとともに何も残らなかった平塚の町とその後の空襲を明かにします。「生活の記録」では、戦時下の或いは空襲時の日記を中心に隣組の活動、警防団や消防団の活躍、救護体制について語って頂きました。そしてエピローグ(今振り返る平塚空襲)では、空襲体験の聞き取りから学び取ったものは一体何か、個々の証言から何が疑問になって残っているか、平塚空襲のどこが注目されるのか、などを証言と空襲の聞き取りを通して感じた会員による座談で構成しています。

この証言集には、写真資料も多数掲載する予定です。また、昭和20年当時の平塚市の町並みを復元し、空襲で焼失した家々を重ね合わせた戦災焼失地図や空襲体験者が避難した避難経路などについてもできるだけ挿入する予定です。また、戦時中の用語などにも解説や注を付し、戦争体験を持たない小・中学生を含む若い方々にも読んでもらえる工夫をします。そうしたことから、その読みやすさとともに平塚空襲を体験者の側から、その実態を鋭く見つめた内容になると思っています。ご期待下さい。

発行は、3月末を予定しています。

博物館カレンダー

12月の行事予定

6	土	○天体観察会 (変光星)	
7	日	民俗探訪会 地質調査会	
10	水	地質調査会	(館内)
11	木	石仏を調べる会	
13	土	○こども観察会 古文書講読会 平塚の空襲と戦災を記録する会 ◎特別展「平塚の星空写真展」2月1日まで	(館内) (館内)
14	日	相模川の生い立ちを探る会	(百蔵山)
17	水	裏打ちの会	
20	土	平塚の空襲と戦災を記録する会 地質調査会	(館内) (館内)
21	日	○体験学習「お飾りを作ろう」 古代遺跡を探す会	
25	木	石仏を調べる会	(館内)
26	金	○特別展関連行事「星を写そう」	
◎は参加自由 ○は申込制 他は会員制			

●特別展「平塚の星空写真展」

博物館で収集された星や星座、平塚で見られた天文現象などの写真を展示します。

会期：12月13日(土)～2月1日(日)
場所：博物館特別展示室

●特別展関連行事

「星を写そう」

期日：12月26日(金)18時～21時
場所：博物館
申込：12月15日までに往復ハガキで。定員20名。

「星を見る会」

期日：1月9日(金)、23日(金)19時～20時30分
場所：博物館 参加自由

●体験学習

「お飾りを作ろう」

正月の一文飾り、輪飾り、玄関飾りなどを作ります。
期日：12月21日(日)
場所：博物館
申込：12月10日までに往復ハガキで。定員50名。

●年末年始の休館日は

12月28日(日)～1月5日(月)です

1月の行事予定

8	木	石仏を調べる会	(野外)
9	金	◎特別展関連行事 星を見る会	(屋上)
10	土	◎漂着物を拾う会 古文書講読会 地質調査会 平塚の空襲と戦災を記録する会	(館内) (館内)
11	日	民俗探訪会	(土屋)
17	土	平塚の空襲と戦災を記録する会	
18	日	相模川の生い立ちを探る会	(辺室山)
21	水	裏打ちの会	
22	木	石仏を調べる会	
23	金	◎特別展関連行事 星を見る会	(屋上)
24	土	古文書講読会 地質調査会 ○自然観察会	(酒匂川)
25	日	○体験学習「星座早見を作ろう」 スターウォッチング 古代遺跡を探す会	(館内) (屋上)
28	水	地質調査会	(館内)
◎は参加自由 ○は申込制 他は会員制			

●自然観察会

「カモを見よう」

水辺のカモやサギの仲間の観察をします。
期日：1月24日(土)
時間：午後1時～4時
場所：酒匂川
申込：1月15日までに往復ハガキで。

●体験学習

「星座早見を作ろう」

星座早見を作って使い方の実習をします。
期日：1月25日(日)16時～18時30分
場所：博物館
申込：1月10日までに往復ハガキで。定員20名。

●寄贈品コーナー

「寄贈された植物写真と文献」

会期：1月6日(火)～2月1日(日)

あなたと博物館 22巻 9号 通巻250号 発行 平塚市博物館 3000

〒254 平塚市浅間町12-41 TEL:0463-33-5111 FAX:0463-31-3949